

秋季家庭婦人大会（ゴールドの部）

9月7日（日）・21日（日）秋季家庭婦人大会（ゴールドの部）が亀戸SCにて開催されました。ゴールドの部では19チームが参加。一日目でベスト8が決まり、二日目には優勝を目指して白熱した試合が繰り広げられました。
※HPギャラリーにてフォトムービー公開中！

江東区バレーボール ギャラリー

検索



優勝 MJクラブ



準優勝 TOMクラブ



3位 葵クラブ



3位 愛宕クラブA

優勝コメント

昨年度の念願の四冠から今年度は一度も優勝できず精神的にも厳しい時期が続きました。秋季大会は強い想いで優勝を目指し気持ちは新たに挑みました。気持ちが切れることなく戦えた結果、今年度初の優勝に繋がり本当に嬉しかったです。まだ個々の課題は沢山ありますがバレーができる環境に感謝し練習に励み、日々サポートしてくださる監督、コーチに敬意を払い次の大会も優勝を目指して頑張ります。

MJクラブ 星野 舞美

秋季家庭婦人大会（プラチナの部）



9/14 (日)、秋季家庭婦人大会（プラチナの部）が東砂 SC、深川北 SC にて開催されました。

プラチナの部では 21 チームが参加。4 つのグループに分かれて各グループの優勝チームが来年度はゴールドの部に昇格となるため、昇格をかけた熱戦が繰り広げられました。

*HP ギャラリーにてフォトムービー公開中！

江東区バレーボール ギャラリー

検索



祝★ゴールドの部へ！



優勝 NEXUS



優勝 愛宕クラブ B



優勝 ハピネス



優勝 BEAMS



秋季9人制（男子・女子）

9/28（日）秋季9人制（男子・女子）が有明SCにて開催されました。

★男子 5チーム 女子 4チーム

男子優勝 耀友会 準優勝 ともえクラブ

女子優勝 深三クラブ 準優勝 jamberry



男子 優勝 耀友会



男子 準優勝 ともえクラブ



女子 優勝 深三クラブ



女子 準優勝 jamberry

秋季6人制（男子・女子）

8/31（日）秋季6人制（男子・女子）が有明SCにて開催されました。

★ 男子5チーム 女子3チーム

男子優勝 耀友会 準優勝 ともえクラブ

女子優勝 愛宕クラブA 準優勝 Szs



男子 優勝 耀友会



女子 優勝 愛宕クラブA

秋季フラー大会（男子）

11/9（日）、秋季フラー大会（男子）が有明 SC にて開催されました。

★6チーム Aコート優勝 深三クラブ Bコート優勝 ともえクラブ



秋季フラー大会（女子）

11/30(日)、秋季フラー大会が亀戸 SC にて開催されました。※参加申し込み 78名(9チーム)



毎回大人気のフラー大会です。

参加条件は連盟所属の45歳以上の女子。

チームの垣根を超えてクジでチーム分けです。それぞれチームのユニホームを着ているのでコートの中は色とりどりで華やかです。

フラー大会にもよく参加されているレジェンド大先輩が『傘寿』を迎えた、連盟より表彰状が授与されました。

会場にいる全員が喜びの大拍手を送り、温かい空気に包まれました。
心よりおめでとうございます！



特集

これぞ生涯スポーツ！ コートの真ん中で一際目を引くその存在感。

「傘寿（さんじゅ＝80歳）」を迎えた選手を讃えて
今フラー大会にて連盟より表彰状が授与されました。
益々のご活躍をお祈りいたします。



— 大先輩 S.S.さんのコメント —

勝って嬉しい、負けて悔しいで、バレーの魅力に取り憑かれました。
仲間とバレーができることが、いちばんの元気の源です。
そして、皆さまの温かい励ましのおかげで、80歳までバレーを続けることができています。
心より感謝申し上げます。
これからも頑張ります！



表彰状を授与される S.S.さん

「竹森部長の」

やってみて！



～ワンポイントアドバイス !!!～

バレーボールの審判をするうえで「ここ、ちょっと自信がない…」

「実はあやふやかも？」というポイントをピックアップ！

審判部の竹森部長が、わかりやすく解説します。

知っているようで知らなかった大切なルールを、楽しく学びましょう！



気になることたくさん

第6回目

『一度でしっかり覚えててしまいたい 「不当な要求」と「試合の遅延」』

試合中に不当な要求や遅延行為があっても、気がつかなかったり、処置はできているでしょうか？

どのようなことが不当な要求や遅延に当たるのか、また処置についてもここで覚えててしまいましょう。

注意点にも触れたいと思います。今回は「不当な要求」についてです。

【不当な要求】



「タイムアウト」または「選手交代」の要求に関してで、**次の5つだけ**です！（ルールブックより抜粋）

- (1) ラリー中、または主審のサービス許可の吹笛と同時かその後の要求
- (2) 要求する権利のない競技参加者による要求
- (3) 同じ中断中の2回目の選手交代の要求（インプレー中の選手が負傷等した場合を除く）
- (4) 規定回数を超えた要求
- (5) 第1サービスと第2サービスの間の要求

《処置の仕方》

Point!

- ・主審または副審は拒否する。
- ・記録員は記録用紙の該当チーム（ⒶまたはⒷ）に×をつける処置をする（※）。
- ただし、プレーに影響を及ぼしたり、同一試合中に同一チームの競技参加者が不当な要求を繰り返したときは、そのチームを試合の遅延として処置する。

（※）処置のタイミングについて

- ・上記（1）ラリー中または主審のサービス許可の吹笛と同時かその後の要求の場合
→ラリーが完了してから処置。
- ・それ以外の場合 →不当な要求がなされた時に処置。



不当な要求として拒否された場合でもそのチームは同じ中断中に異なる種類の中止を要求することができる。

(例) 1回目の選手交代→うっかり2回目の選手交代を要求（ここで拒否。不当な要求）

→「タイムアウト」に変えて要求（これは認めてOK）

上記の例は最初の不当な要求のとき。不当な要求は2回目以降「遅延」になるので、異なる種類の中止も要求することはできません。

《不当な要求に関する審判をする時に気にしておきたいこと》

Check!

(1) では、主審と副審がしっかりと意思疎通（アイコンタクトなど）を図り、サービス許可の吹笛をします。

副審はベンチコントロール（監督がタイムアウトを取ろうとしていないか、ベンチの選手に動きがないかなど）をしっかりと行っておきましょう。

(2) では要求する権利を持っているのが誰なのか明確にしておきます。

①ベンチにいる監督 →②(監督がない場合) コート内のチームキャプテン →③(監督がおらず、チームキャプテンがベンチにいる場合) コート内のゲームキャプテン

※監督がチームキャプテンではない選手を兼任している場合、ベンチにいれば「監督」ですが、コート内にいる時は「選手」です。権限はありません。

(4) では、副審が回数をきちんと伝えることです。

タイムアウト →2回目のタイムアウトが終了した時点でハンドシグナルを用いて「タイム、2回終わりました」と伝えます。

選手交代 →5回目で「選手交代 5回目です」とハンドシグナルを用いて伝えます。

6回目で「選手交代 6回終わりました」とハンドシグナルを用いて伝えます。



副審が正確な回数を把握するために、タイムアウトや選手交代の時、記録員は毎回回数を副審に伝えてください。

タイムアウトや選手交代は主審も要求を許可できるので、回数を把握するために副審は主審にも回数(タイム2回目、選手交代5回目と6回目)を伝えるようにしてください。

以上が不当な要求の内容になります。一度覚えてしまえば、なぜ苦手にしていたんだろうと感じると思います。今からもう一度ルールブックの不当な要求のパートを読んで覚えてしまいましょう。

次回は「試合の遅延」について取り上げます。